

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ごみ処理広域化推進事業		
事業担当	環境部 環境施設課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	③〈循環型社会〉循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等	ごみ処理の広域化計画について(厚生省環境整備課長通知)他		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
ごみ処理広域化実施計画が策定され、環境負荷の低減、ごみ処理の効率化、経費縮減が図られています。		ごみ処理の効率化を図るため、広域的なごみ処理に関する事項等を協議し、ごみ処理広域化実施計画に基づき広域化を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	ごみ処理広域化進捗率(剪定枝資源化施設:二宮町)(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成27年度を100%とした進捗率。H24:地質調査、環境影響予測調査等4%、H25:事業者選定等17%、H26:設計、建設22%、H27:建設57%				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		43	100		
	実績	43	100			
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
ごみ処理広域化実施計画に基づき施設整備を進め、実施主体である二宮町が、9月30日に二宮町ウッドチップセンター(剪定枝資源化施設)を竣工させました。						
平成27年度の検証結果	A: 成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民ニーズ ■ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他 	平塚・大磯・二宮ブロックでゴミ処理の課題を解決していくため、事業の必要性は高いです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 □ 継続による成果向上の可能性 □ その他 	環境負荷の低減や効率的なゴミ処理が可能となり。経費の縮減も図られることから事業の有効性は高いです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の目的、対象、内容 ■ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制(人員配置、業務分担) □ その他 	平塚・大磯・二宮ブロックの廃棄物処理の現状と課題を抽出して、広域処理施設の整備計画等を策定し、目的や負担等は妥当です。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務プロセス改善による効率化の方策 ■ コスト削減の可能性 ■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) □ その他 	ゴミ処理広域化により、経費や施設をそれぞれの市町が補完し合うため、効率は高いです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 平塚・大磯・二宮ブロックのゴミ処理広域化では、ゴミ処理広域化実施計画掲げた減量化の目標、資源化の目標、最終処分量の削減目標を達成するために連携して取り組んでいく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		ゴミ処理広域化実施計画に基づく事業の実施	剪定枝資源化施設建設	剪定枝資源化施設建設、し尿処理施設調査
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	5,082	12,710	17,527
	起債	19,100	42,700	105,600
	その他 特財	682	0	0
	一般財源	69,363	52,384	90,930
事業費 (A)		94,227	107,794	214,057
執行率 (%)		98.26	99.45	99.66

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 本市のし尿・浄化槽汚泥を処理している大磯町し尿処理施設は、ゴミ処理実施計画では平成29年度からの新設工事を計画していますが、平成27年度に実施した精密機能検査の調査結果を受けて当面は延命化を図ります。
課長コメント ゴミ処理広域化を、「改訂 平塚・大磯・二宮ブロックゴミ処理広域化実施計画」に沿って推進します。